

レモングラスの冬期ポット栽培

レモングラスは、最低気温10℃以上であれば冬期のポット栽培は可能です。

背景・目的

- 露地栽培のレモングラスは、冬期に地上部が枯れ上がってしまうため、冬期の生食用の流通が少ない状況があります。
- そこで、加温施設を利用したレモングラス冬期栽培について検討を行いました。

成果の内容

- レモングラスを加温施設内でポット栽培し、ハウス内気温を5℃以上で管理した場合枯死することなく生育し、10℃以上で管理した場合は、生食用として出荷が可能な生育となりました。
- レモングラスティーの食味総合値は、最低気温5℃、10℃ともに露地栽培のものより良い傾向となりました。

試験区	地上部重	食味総合値	備考
露地栽培	104.6g	0.00	地上部枯死
最低気温5℃	293.6g	0.08	
最低気温10℃	321.6g	0.17	
夏場生産(参考)	—	0.17	

■ポット栽培の状況(9月15日移植、翌3月8日収穫)



ポット移植状況(9月15日)



露地栽培(最高気温10月1日
33.4℃、最低気温1月16日-4.4℃)

最低気温5℃(加温施設)

最低気温10℃(加温施設)

成果の活用方法(又は期待される効果)

- タイ料理用等に生食で使われるレモングラスを冬期に栽培する場合の基礎データとして活用できます。
- 普及対象地域 宮崎県内

留意点

■耕種概要

施肥量(kg/a) 堆肥200、苦土石灰10、N-P-K=1.0-1.8-1.0

関連研究成果カード：平成29年後期 番号93、県単

研究期間：平成28年～29年